



## 宿毛市2040ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界中で異常気象が発生し、日本各地においても集中豪雨や台風の巨大化など地球規模での温暖化が原因とされる自然災害が頻発化・激甚化しており、私たちの生命や財産の危機、さらには自然環境や生態系への悪影響など、人類の生存基盤を根本から揺るがす「気候危機」と言うべき極めて深刻な事態となっています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するために「2050年までにCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

このような中、本市は、豊かな自然や生態系を次代につなげるため、2050年までの目標を10年間短縮し、2040年までにCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の排出量実質ゼロを目指す「2040ゼロカーボンシティ」を宣言し、市民や事業者等と共に「チームすくも」で、その実現に向けた取り組みを推進してまいります。

令和3年4月6日

宿毛市長 中平富宏